

ざしきわらし

〒028-6193

岩手県二戸市堀野字大川原毛 38 番地 2

TEL 0195 (23) 2191

FAX 0195 (23) 2834

URL <http://www.ninohe-hp.net/>

編集発行

岩手県立二戸病院 図書広報委員会



「地域と生きる二戸病院」

院長 佐藤 昌之



今年の夏、酷暑の夏、いかに乗り切りましたか？とくに台風 20 号、21 号の襲来、北海道胆振東部地震は日本列島に大きな被害をもたらし、自然の驚異を感じました。改めて、被災地域の皆様には心からお見舞い申し上げます。

さて、当院はカシオペア地域における急性期医療を担う地域の基幹病院として、地域の皆様の健康を守ることを使命としています。

平成 27 年 12 月 1 日に病院機能の一部を縮小し、稼働病床数 235 床として再スタートしたわけですが、地域住民の高齢化や人口減少により、入院・外来患者数ともに減少しており、現状の病院機能を維持していくためには、更なる経営改善による収支均衡が求められているところです。

そこで、当院の病床数を活かし、地域の慢性的な医療・介護のニーズに対応するため、地域包括ケア病棟の導入を検討しています。地域包括ケア病棟は、自宅復帰や施設入所に向けた医療サービスを提供することを目的とした病棟であり、「入院期間はできるだけ短期間」、「急性期の治療を終えた患者様は退院していただく」といったこれまでの国の方針とは異なります。また、入院期間も 60 日まで可能です。導入に当たって病棟の再編成や施設設備の改修等があり、いろいろと大変ですが、当地域の皆様にとっても非常に有用なシステムでありますので、引き続き推進していきたいと思っております。

さて、岩手県には県営医療を担う 20 の県立病院と 6 つの地域診療センターがありますが、医学の研究や、相互の医学知識の交流等を図ることを目的として岩手県立病院医学会を開催しています。去る 9 月 9 日、第 50 回岩手県立病院医学会(学会長：県立釜石病院 院長 川上幹夫先生)が釜石市で開催されました。(総会参加者 129 名、一般演題数 73 題)前夜祭には達増知事をはじめ、野田釜石市長、小泉釜石医師会会長が祝辞を述べ、これに虎舞のアトラクションも加わり大いに盛り上がりました。学会当日は一般演題の他特別講演や記念講演があり、締めくくりに県立高田、大槌及び山田病院の院長が、「復興 3 病院の現状と課題について」をテーマにシンポジウムが展開され、盛会に幕を閉じました。2020 年の(第 52 回)岩手県立病院医学会は当院が担当病院となり、この二戸市で開催する予定です。カシオペア地域医療福祉連携研究会(ひめぼたるネット)による医療と介護の連携や事前指示書「HOTARU」、救急車 12 誘導心電図伝導システムの取組など二戸病院と地域住民及び関係機関との協働に特色のある二戸らしい学会になるよう、診療の傍らこれらの準備もしていきたいと思っております。また、地域住民に二戸病院と医療を理解していただくため二戸病院祭を開催しています。普段立入れない場所を見ていただき病院の透明性の確保をすることにより、地域住民から信頼され、愛される病院になるよう努力しています。今年は 9 月 22 日に開催しますのでご来場願います。これからも、県立病院創業の精神「県下にあまねく良質な医療の均てんを」のもと、職員一同、地域の医療を守るため努力しますのでよろしくお願ひします。

看護の専門性認定看護師の活動

認定看護師とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める615時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的としています。二戸病院には4名の認定看護師が活動しています。

緩和ケア認定看護師（畑山賢 田口真理子）

緩和ケアとは、痛みなどの体の苦痛、気持ちのつらさ、生活上の不安など様々な問題に対応し、患者さんとそのご家族が病気を抱えながらも最期まで自分らしい生活を送ることが出来るように支えていくケアです。

当院には緩和ケア認定看護師が2名在籍しており、カシオペアがんなんでも相談室と病棟に勤務しております。体や気持ちのつらさ、病気を抱えながら生活していく上での不安や悩みを、患者さんやそのご家族のお話を伺いながら、問題解決のお手伝いをさせていただきます。どうぞお気軽にご相談ください。

感染管理認定看護師（菊地 努）

感染管理認定看護師は、専門的な知識と技術を用いて、患者さん・来訪者・医療従事者・施設・環境を対象に、感染に対するリスクを最小限に抑えるために、正しく効率的な感染管理を計画、実践、評価し、提供するサービスの質の向上を図るといった重要な役割を担っています。

現場で直接ケアに携わる事はありませんが、自らの立場で皆様に貢献出来るように努力して参ります。皆様が安心して岩手県立二戸病院を利用して頂ける様に、日々の活動を進めていきたいと思っております。

皮膚・排泄ケア認定看護師（小笠原春美）

皮膚・排泄ケアとは、創傷（きず）、褥瘡（じょくそう：床ずれともいわれています）、ストーマ（人工肛門、人工膀胱）、失禁など排泄ケアに関わり、スキンケアを専門としています。現在は主に病院内で、褥瘡対策チーム、栄養サポートチームの一員として活動しています。外来ではストーマ造設後も不安なく日常生活が送れるように支援し、褥瘡のある患者さんへも継続した支援を行っています。今、何か困っていることや気になることがありましたら、外来受診時や電話でもお気軽にご連絡ください。

私たちは地域へも出向き活動します。お気軽に声をかけてください。



減塩・適塩のススメ

～ 脳卒中予防に役立つ！食べ方の工夫とレシピの紹介 ～

【栄養管理科】

岩手県の脳卒中死亡率は全国でワースト 1 になっています。脳卒中の原因の中に高血圧があります。高血圧の最大の原因は塩分の摂りすぎといわれていて、1 日の食塩摂取基準は男性 8g、女性 7g です。料理や食べ方を工夫して減塩していくことが大切になります。それでは、簡単に実践できる減塩方法とレシピを紹介します。

① 調味料は「かける」のではなく「つける」

醤油やソースなどの調味料は料理にかけるのではなく、小皿などに少量出し、つけて食べるようにすると塩分を減らすことができます。



② 汁は飲み干さない

つついラーメンなどのスープを飲み干してしまう方もいるかと思いますが、塩分を多く摂取してしまうので要注意です。

③ だしで旨味をかきせる

だしの旨味をかきせることで、調味料が少なくても味の満足感が得られます。昆布、かつお節、しいたけ、煮干しでだしをとり、調理に活用しましょう。

④ 酸味や香辛料で減塩！

酢やこしょう、カレー粉などで酸味や香辛料をかきせると、味が引き立ち塩分を減らしても物足りなさを感じにくくなります。料理に取り入れてみてはいかがでしょうか。

食べ方や調理の工夫をするだけでも塩分の摂取量は変わってきます。是非やってみてください！

～減塩レシピ～

☆豚肉のみそ炒め☆

<材料（2人分）>

豚ロースしゃぶしゃぶ用	60g
玉ねぎ	70g
ピーマン	10g
人参	10g
だし汁（かつお節や昆布）	適宜

A	おろしにんにく	少量
	おろししょうが	少量
B	砂糖	小さじ 1/3
	酒	少量
	みそ	小さじ 1/3
	しょうゆ	少量
	サラダ油	適宜
	豆板醤	少量

<作り方>

- ①鍋でだしを沸騰させ、おろししょうがを少量加えた汁に、豚肉を入れて軽く火を通す。
- ②B は合わせておく。
- ③フライパンに油をしき、A をいれて野菜を炒める。次に豚肉を加えて炒め、B で調味する。（お好みで豆板醤を入れても可）



二戸病院広報「ざしきわらし」第22号（平成30年9月18日発行）

編集発行：岩手県立二戸病院 図書広報委員会

〒028-6193 岩手県二戸市堀野字大川原毛 38 番地 2

TEL 0195 (23) 2191 ・ FAX 0195 (23) 2834

URL <http://www.ninohe-hp.net/>